

夕張川の指導者認定  
システムづくりに向けて

## 川の指導者講習の開催

◎日時:平成28年6月25日(土)9:30~17:00、  
6月26日(日)9:30~17:00

◎場所:栗山町雨煙別学校コココーラ環境ハウス、  
夕張川清幌床止め下流、長沼頭首工下流から馬追橋上流

RAC(川に学ぶ活動体験協議会)講習会のフォローアップを目的に、平成21年から川の指導者講習が開催されています。今年も教育委員会や青年会議所、NPO等の方々が参加して、子どもたちへの指導方法や川のしくみ、川の生き物、救命救助、ボート操船などを2日間にわたって学び、川の指導者にとって必要な技能、知識を磨きました。当日夕張川の水温13.5℃、雨の中、みんながんばりました!



スローロープで落水者の救助訓練



ボート操船は、陸でのパドリング練習から



いっしょうけんめい勉強



冠水した砂州で魚採り

## 川へのアクセスを改善し、河川管理の適正化と河川利用の拡大

# 河川利用についての意見交換の開催

◎日時:平成28年6月17日(金)13:30~15:30

◎点検場所:馬追橋上流右岸、意見交換場所:雨煙別学校ココ・コーラ環境ハウス

江別河川事務所と、夕張川を利用している教育委員会やNPO等関係者が、河川管理の適正化と利用拡大のため意見交換しました。河原の樹林化対策や管理用道路の整備を行うとともに、NPO等と河川管理者が連携して管理用道路の維持管理を行っていくことを確認しました。



### 長沼頭首工下流左岸の河原 ほか

### 馬追橋上流右岸

#### 利用状況



ボート発着場、生き物しらべ



川流れ、川歩き



ボート発着場



#### 課題

●河原の保全 ●アクセスの安全確保

●アクセスの安全確保

#### 改善方針

●堆積土砂の掘削 ●ヤナギの伐開  
●管理用道路の整備、維持管理の連携

●管理用道路の拡幅 ●ヤナギの伐開、枝打ち  
●維持管理の連携

第31回

# 夕張川流域会議「川の学習視察&お手伝いと意見交換会」

◎日時:平成28年7月20日(水)9:30~13:30

◎視察場所:長沼頭首工下流左岸(由仁小の川の学習視察)

◎意見交換場所:栗山町ふれあいあいプラザ

夕張川長沼頭首工下流左岸の河原で、NPO 雨煙別学校が由仁小学校4年生約30名にボート操船や、川流れなどを指導している状況を現地視察したほか、委員が運営スタッフと一緒に夕張川に入って、こどもたちの安全管理や、ボートの後片付けなどを手伝いました。

意見交換では、委員から川の学習会に関する感想のほか、河道内樹林化、ダム放流、魚がのぼりやすい川づくりなどへの意見がありました。



意見交換の様子



▲バスで現地へ移動



▲ボート運搬の手伝い



▲操船の練習



▲川歩き



▲みんなで競争



▲ボートの後片付け



ハイ! チーズ!

## 主な意見

- ★子どもたちは水に入るのが好きなのだ、感じた。川に入れば、そこに生き物がいるということもわかるので、これからも川は学習の場として期待される。
- ★川の体験学習は安全管理が大切なので、まず、指導者が川の危険を知る必要がある。
- ★砂州のヤナギを伐開するだけでは、2年くらいでまた樹林化すると思う。砂州を切下げたり、上流からの流向を変えるなど対策しなくてはいけない。
- ★子どもたちが安全に遊べる河原が減ってきた。生き物が生活しやすい河原がある河川は、人にとってもいい河川だと思う。
- ★河川改修と自然再生事業を同じ場所で、同時に行うことによって、本来の多自然川づくりができるのでは？
- ★河川法が改正され、治水、利水に加えて環境が位置づけられた。河川環境の整備と保全を行い、バランスよく河川管理を進めていきたい。
- ★7月だが、川の水が冷たいと感じた。ダムによる放流が影響しているのではないのか？
- ★昨年、一昨年と比べて夕張川の流量が多いように思う。今年は水位が高くてマルタウグイが産卵できなかった。今年からダムの放流や運用を変えたのだろうか？
- ★今の夕張川はダムで礫の移動が止められている。ダム下流は礫の流出と河床低下のため、サケが遡上、産卵しても再生産するには厳しい環境にある。
- ★河川の治水安全度に影響を与えないよう、小さな規模で、市民やNPOが砂利を入れて産卵場を造ることはできないだろうか？
- ★雨煙別川の整備計画では、落差工を撤去するという計画のようだが、このあたりの地形、地質から考えると、必ず河床低下するので、計画を見直す必要があると思う。

発行：夕張川流域会議事務局

江別河川事務所：〒067-0074 江別市高砂町5 電話 011-382-2358  
夕張川ダム総合管理事務所：〒068-0546 夕張市南部青葉町 573 電話 0123-55-5151